

三ツ又ム政治学



ゼロ塾

著作権者 ゼロからの宅建・公務員塾
無断複製・無断転載等を禁じます。

Copy right@2011-ゼロ塾ALL RIGHTS RESERVED

17.現代政治学の二人の巨人：伝統的政治学を批判

1.ウオーラス→人間の「非」合理性に着目

人間はマスコミにあおられ、流されバカバカしい存在（主知主義）

人間は経済学の仮定しているようなシンプルな

Xではなく、感情的な存在

※覚え方）ウオーと感情

2.バントレー→「集合論」→集団には個人の集まりを超えた何か

がある！！

※覚え方）ベン図＝集合

近代の方向性：「個人に還元」と逆ベクトル

☆トルーマンによって後に再評価され、メジャーな存在に！！！ 集団理論→外交政策「均衡理論」へ
発展！！

20. 支配論：ヒトラーはなぜ国民投票によって選ばれた支配者か？

1. マックス・ウェーバー「支配の3類型」

★理念系モデル（現実には混合形だったりする）

→ ①伝統的支配 ②カリスマ的支配 ③合法的支配

2. シュミット「政治的リーダーシップ論」

→ ①投機的リーダーシップ → ばくち的

ex) ヒトラー → スケープゴートなど

②創造的リーダーシップ → 変革的

③制度的（代表的）リーダーシップ → 保守的、安定的

④伝統的リーダーシップ → 殿は殿の「身分」

ex) シーニン、毛沢東 → 理論化

3. ミルズ「パワーエリート論」

→ アメリカ社会は高級軍人、官僚、財界人の3者が、国の政策を動かしていると言った。